



2025年
3月5日
No.A24-11

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

中東調査会月間活動誌 (2025年2月)

1. 中東調査会主催の行事

(1) トップ・ミーティング

・2月26日(水)、(松田 邦紀 前ウクライナ大使「ウクライナ情勢—全面的侵攻から丸三年」(於：オークラ東京)



<要旨>

ウクライナ・ロシア関係の歴史や停戦に向けた国際社会の動き、日本の対ウクライナ支援の展望等について、説明がなされた。

(2) 中東情勢オンライン講演会

・2月12日(水)、山本 健介 静岡県立大学講師「停戦後のガザ統治とパレスチナ党派和解」(Zoom形式)

<要旨>

講師より、パレスチナ党派和解の試みやガザ停戦合意、戦後統治の行方等について、詳細な説明がなされた。質疑では、パレスチナ国家樹立の見通し、パレスチナ自治政府と湾岸諸国との関係、パレスチナ人への国際援助のメカニズ

ム等につき質問がなされた。



・2月18日(火) 15:30~17:00、勝亦 孝彦 駐トルコ特命全権大使「100周年を迎えた日トルコ外交関係」(Zoom形式)



<要旨>

ウクライナ戦争及びガザ・シリア情勢への対応、対グローバル・サウス外交、食糧安全保障といった多国間の課題への取り組みを含め、講師よりトルコの政治・経済動向について詳細かつ包括的な説明がなされた。質疑では、シリア新政権の主体である HTS との関係、BRICS 加盟

を希望する狙い、ガス戦略等につき質問がなされた。

2. 中東調査会の活動

(1) 中東トピックスの発行【会員限定】

- 2025年2月号(2025年3月5日付)
- 1. シリア：国民対話会議の開催
- 2. トルコ：ゼレンスキー・ウクライナ大統領、ラブロフ露外相のトルコ訪問
- 3. ガザ戦争：2月の動き 停戦-第一段階は無事終了、第二段階は起動せず
- 4. アルジェリア：西サハラ・移民問題でフランスとの関係が悪化
- 5. イラン：アラブ諸国との関係の維持・強化
- 6. アフガニスタン：移民・難民を巡る環境悪化と強制送還の増加

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/)

(2) 中東かわら版の発行

- No.120「中東：トランプ大統領によるパレスチナ人移住計画案に対する拒否」(研究主幹 高尾賢一郎、2月3日)
- No.121「イラン：米国のトランプ大統領が「最大限の圧力」再開を発表」(研究主幹 青木健太、2月5日)
- No.122「UAE：2024年の日本の最大の原油調達先に」(主任研究員 高橋雅英、2月7日)
- No.123「UAE：ムハンマド大統領のフランス訪問、フランス AI 産業への大規模投資」(主任研究員 高橋雅英、2月10日)
- No.124「イラン：米国のトランプ政権によるイラン石油部門への制裁」(主任研究員 高橋雅英、2月12日)
- No.125「レバノン：サラーム内閣の組閣が完了」(協力研究員 高岡豊、2月12日)
- No.126「アルジェリア：ロシアの最新鋭戦闘

機「Su-57E」を購入」(主任研究員 高橋雅英、2月13日)

- No.127「シリア：国民対話への準備」(協力研究員 高岡豊、2月18日)
 - No.128「レバノン：イスラエル軍の占領は継続」(協力研究員 高岡豊、2月19日)
 - No.129「エジプト：キプロス産ガスを輸入し、欧州に LNG 輸出へ」(主任研究員 高橋雅英、2月19日)
 - No.130「シリア：国民対話会議開催と並行してシリアの解体が進む」(協力研究員 高岡豊、2月26日)
 - No.131「UAE：ムハンマド大統領の初のイタリア国賓訪問、400億ドルの投資へ」(主任研究員 高橋雅英、2月28日)
- (<https://www.meij.or.jp/kawara/>)

(3) 中東分析レポートの発行【会員限定】

- No.8「第二次トランプ政権発足を受けた中東主要国の対応」(2月12日)
- No.9「シリア社会の諸構成要素についての基礎的情報収集」(2月26日)

※内容はホームページをご参照ください

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/report/)

(4) イスラーム過激派モニターの発行【会員限定】

- No.21「月刊イスラーム過激派の動向：2025年1月」(2月14日)

※内容はホームページをご参照ください

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/monitor/)

(5) その他の活動

- 2月27日(木)、2024年度外交・安全保障事業「中東ユーラシアにおける日本外交の役割——国家間競争の時代における大国主導の連結性戦略と地域秩序再編の実態解明」事業の第4回研究会を実施した。

3. その他 (要人往来)

- ・3日、岩屋外相は、訪日中のサウジアラビアのファイサル・ビン・ファルハーン外相との間で、第2回日・サウジアラビア外相級戦略対話を行った。
- ・15日、岩屋外相は、ヨルダンのサファディー副首相兼外務・移民相と会談した。
- ・21日、岩屋外相は、アルジェリアのアッターフ外相と会談した。
- ・21日、岩屋外相は、トルコのフィダン外相と会談した。

て解説した「かわら版」、会員限定レポート「イスラーム過激派モニター」、及び、特別書き下ろし「BRICS 拡大と中東」を所収しております。是非お手に取ってご覧ください。

※通常の『中東研究』とは異なり、会員向け配布はございません。

(<https://www.meij.or.jp/publication/chutoukenkyu>)

4. 3月の予定

- ・3月7日(金)、14:00~15:30、第31回研究員発表会(金子 真夕 中東調査会主任研究員「トルコ外交の現在 -地域・周辺諸国との関係再構築」、高橋 雅英 中東調査会主任研究員「UAE・中国のクリーンエネルギー協力」)
- ・3月12日(水)、14:00~15:30、中東情勢オンライン講演会(馬越 正之 駐レバノン共和国特命全権大使「最近のレバノン情勢(仮)」)
- ・3月19日(水)、8:30~10:00、於：オークラ東京プレステージタワー7階「メイプル」、トップ・ミーティング(羽田 浩二 2025年日本国際博覧会政府代表「いよいよ開幕!大阪・関西万博」) ***法人会員限定**

※やむを得ない事情により、日時や会場が変更になることもございますのでご了承ください。また、この他にもイベントを開催することもございます。詳細等と併せまして、配信メールやHPをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/event/>)

5. 出版物刊行のご案内

・2月28日、『別冊・中東研究：中東各国動向(2024)』(定価：本体2000円+税)が発行されます。1年間の中東各国動向をまとめた「日誌データ」、重要なニュースをピックアップし

*会員の皆様は、どなたでも会員限定ページをご覧になれます。

*ログインに必要なIDとパスワードは、御社の当会担当窓口にお問い合わせください。